

女性の政策・方針決定過程への参画状況

内閣府では、毎年、政治、行政、司法等の様々な分野における女性の政策・方針決定過程への参画状況等について直近のデータを収集し、取りまとめています。本年度の調査結果の概要をご紹介します。

●女性の政策・方針決定参画状況調べ

全体として、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大は緩やかです。各分野において「2020年30%」の目標（2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待）を達成するには更なる努力が必要です。項目別に見ると、民間企業や公務員における女性管理職比率は依然低い状況です。また、経済団体、職能団体における女性役員比率も低くなっています。

一方で、国家公務員1種試験等事務系区分採用者に占める女性割合が昨年4

月に初めて3割を超え、また、医師、歯科医師、研究者などの専門的職業従事者における女性割合も比較的高くなってきています。今後はそれぞれの分野での登用が望まれるところです。

●地方公共団体における推進状況

全体としては、多くの地方公共団体において、着実な前進が見られます。

男女共同参画に関する計画は、全ての都道府県及び政令指定都市において策定済み、市（区）は

90・7%と高く、町村は35・3%となりました。男女共同参画に関する条例については、46都道府県及び全ての政令指定都市において、また、市（区）町村では24・0%が制定しています。

また、都道府県の審議会等委員の女性登用比率は、平均28・0%、政令指定都市29・0%、市（区）町村23・3%となりました。

一方、地方自治体の女性管理職（本庁の課長相当職以上）比率は、都道府県で平均5.7%、政令指定都市8.6%、市（区）町村9.3%となりました。10%を超える自治体が57.5ある一方、女性管理職が1人もいない自治体が45.0もあるなど、自治体間に格差が見られます。

（内閣府広報誌2月号より）

飯山市の状況は、次のとおりです。

市議会議員 11・8%
市審議会委員 23・1%

農業委員 22・2%
教育委員 60・0%
自治会長 0%
民生児童委員 44・7%
飯山市でも公職における女性の参画率が30%に達成するよう努めるという目標が設定されています。男性も女性も共に地域を支え、政策や方針の決定にも参画できる社会になるように推進する必要があります。

各分野における「指導的地位」に女性が占める割合（抜粋）	
国会議員（衆議院）	11.3%
国会議員（参議院）	17.4%
大臣	11.1%
国の審議会等委員	33.2%
裁判官	16.0%
検察官	12.9%
都道府県議会議員	8.2%
市町村議会議員	10.8%
都道府県知事	6.4%
市区町村長	1.3%
都道府県審議会委員	28.4%
市区町村審議会委員	26.3%
民間企業（従業員30人以上）における管理職	3.6%
農業委員	4.6%
教育委員	28.1%
小学校教頭以上	19.9%
中学校教頭以上	6.5%
自治会長	3.8%
医師	17.2%
歯科医師	19.2%
薬剤師	67.1%
獣医師	23.3%
弁護士	15.4%
公認会計士	13.4%

平成21年度「あなたと私の共同参画講座」のまとめ集を作成しました。

講師の講演録などが収録されています。内容は「共生社会への秘訣は?」「映画・TV・雑誌・新聞に描かれるジェンダーを読む」「ワイワイ一緒に村づくり・パート7」「会議術・心が伝わる話し方」です。

冊子を無料でお分けしますので、ご希望の方は男女共同参画係までお申し出ください。

講座のまとめ集

平成21年度「あなたと私の共同参画講座」のまとめ集を作成しました。

講師の講演録などが収録されています。内容は「共生社会への秘訣は?」「映画・TV・雑誌・新聞に描かれるジェンダーを読む」「ワイワイ一緒に村づくり・パート7」「会議術・心が伝わる話し方」です。

冊子を無料でお分けしますので、ご希望の方は男女共同参画係までお申し出ください。

未来通信

いいやま女性センター未来に集うグループ紹介

ピラティス同好会

代表 高橋聖子



私たちのサークルは、「子どもが一緒でも気軽にリフレッシュしたい、母になってもキレイでいたい」という願いを持った子育て真っ最中のママ達が集うサークルです。

サークルを始めたきっかけは、私自身が出産後の腰痛に悩まされていたところ、宮崎栄子先生のピラティスに出会いました。ピラティスは産後の骨盤を整え、女性らしい筋肉を作るのに最適!との事で「きっと私と同じ様な悩みを抱えたママ達が多いはず!」と声をかけ集まったサークルです。

毎週小さな子どもたちがパタパタ走り回る中、いつまでも若くキレイでありたいと願うママが、楽しみながら真剣に取り組んでいます。

※いいやま女性センター未来では、大勢の方がグループで活動をされています。グループへのお問い合わせは、女性センター未来 ☎62-0543まで お気軽にどうぞ

和（きものの着付）を学ぶ会

代表 山崎 公

「きものを着たい」「自分で着られるようになりたい」、日本の伝統文化にも触れながら「和（きものの着付）を学ぶ会」として、1月から未来でスタートしました。月2回、清水文子さんを講師に老若入り交じり真剣な中にも和やかに着付けの“いろは”から学習が始まりました。

きもの好きにはあまり抵抗も違和感もありませんが、洋服が定着した今の生活の中で、なぜきものなのと思われる人も多いのではと思います。時代が変わっても人にはその時々々の礼儀をわきまえる心、その場での相手を思う心配りは忘れたくないですね。面倒だから、簡単だからと余りにも安易に片付けてしまうことは大変残念に思います。

タンスの奥から悲鳴が聞こえてきませんか。祖母、母、子から孫へと深い思いが受け継がれて行くきものを大切にしたいものですね。

四季折々の恵みを布目に活かした多彩な表情は、見る人の心を和ませ、まとう人の心を豊かにしてくれる、これが日本のきものだから世界に誇れるファッションなのです。

蚕から繭、そして多くの人手と工程を経て完成された1枚のきもの、だからあなたがその袖に手を通した時、だれよりも美しくきれいに輝くのです。ちょっと気持ちが動いた方、タンスに眠っている着物を持って、仲間作りをしてみませんか。



女性センター未来利用者研修 「ルシーダットン」を学ぼう!

2月19日開催しました

利用者が集まりやすい平日の夜、開催しました。

参加者からは・・・

◇リラククスで楽しかった。少しずつ体があたたかくなり動けるようになりました。無理のない進め方で、初めてでも楽しめた。

◇はじめてのヨガで、大丈夫かな?と不安でしたが先生も明るい方で、とても楽しく安心してできた。

◇肩こりやストレスが少し解消できたような気がしました。

◇リフレッシュできました。体が伸びた気がします。楽しかった。是非、ルシーダットンの講座を数回やってほしいです。短い時間でいいので!

◇「少し運動をしたかな」というくらいの量なので、とても気持ちが良かったです。

◆「ルシーダットン」とは、タイ語で『仙人の自己整体法（ストレッチ体操）』と呼ばれる、タイで古くから伝わる健康法です。

